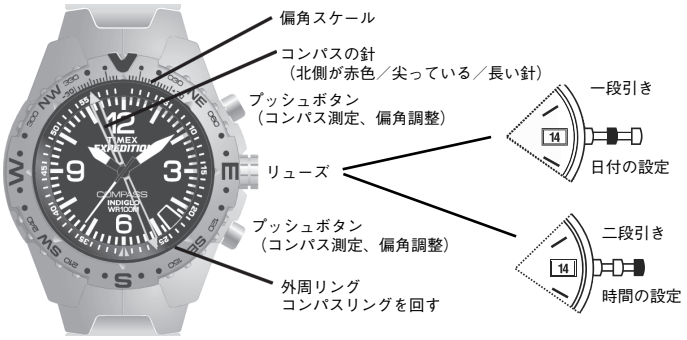
この度はTIMEXウォッチをお買い上げいただき有難うございます。
TIMEXウォッチの機能をご理解いただき、製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書はよくお読み下さい。
また、取扱説明書はお手元に保管していただき、必要に応じて、ご参照下さいますよう、お願い致します。

アナログ式エレクトリック・コンパスウォッチ取扱説明書

この取扱説明書はアナログ式エレクトリック・コンパスウォッチモデル専用です。その他製品にはそれぞれ専用の説明書をご用意しております。その節は該当の説明書をご参照下さい。

1. 操作方法



2. 日付設定

1. リュウズを1段引いた状態で上下いずれかに回し日付設定を行って下さい。
2. 設定後はリュウズをしっかりと押し込んで下さい。
（注）リュウズにプラスティック製ガードがついている場合は、それを外して行って下さい。
（注）上下いずれに回しても問題ありませんが、21時から2時の間の日付調整はおやめ下さい。

3. 時刻設定

1. リュウズを2段引いた状態で、回転させ正しい時刻に設定して下さい。
2. 設定時刻に設定したら、リュウズをしっかりと押し込んで下さい。
（注）あらかじめ秒針を12時の位置にしてリュウズを引くと正しい秒設定ができます。
（注）この時計は12時間で1回転します。夜中0時に日付が変更されるよう設定時刻の際には、午前・午後を確認して下さい。
（注）リュウズやボタン操作の際にピッという電子音がしますが、これを消すことは出来ません。

4. インディグロ・ナイトライト

リュウズを押し込んだ状態（通常位置）で更に押すと、文字盤が約4秒間点灯します。

INDIGLOナイトライトに使用されているエレクトロルミネッセンス技術（米国特許4.527.096および4.775.964）により、夜間や薄暗がりの中でも文字盤全体が明るく点灯する構造になっています。

モデルによっては、文字盤のところが影のようになって発光しない個所がある場合がありますが、文字盤に電流を通電させるために必要な部分が文字盤の縁に装備されているためのものであり、故障ではありません。

5. エレクトリック・コンパス機能について

（コンパスを使用する前に必ず次の設定を行って下さい。）

5−1. コンパスの針位置調整

通常、赤いコンパス針は12時位置を指しています。何らかの理由で位置にズレが生じた際はこれを修正しなければなりません。
1. リュウズを2段目まで引き、上または下方のボタンを押して下さい。
2. コンパス針を12時位置にあわせて下さい。
（注）設定の際に時計機能は停止しますので、コンパス修正後に再度時刻を設定して下さい。
（注）コンパス針は、リュウズ上方のボタンを押し続けると時計反対回り、下方ボタンで時計回りに回転します。また、これらのボタンを細かく押すと分単位に動きます。

5−2. コンパスの偏角

赤いコンパス針が示す方向は地域によって西寄り（西偏）や東寄り（東偏）にずれている場合があります。この真北からずれた差を「偏角」と言い、ずれたコンパスが指した北を「磁北」と言います。
（例）日本
北海道☒…☒真北から西寄りに9度ずれた北方向をコンパス針は指します。
東　北☒…☒真北から西寄りに8度ずれた北方向をコンパス針は指します。
関　東☒…☒真北から西寄りに7度ずれた北方向をコンパス針は指します。
九　州☒…☒真北から西寄りに6度ずれた北方向をコンパス針は指します。
沖　縄☒…☒真北から西寄りに5度ずれた北方向をコンパス針は指します。

（日本各地の偏角は国土地理院が発行する5万分の1、25,000分の1、10,000分の1の地形図に記載されています。）

偏角リスト			
日本	15E	New York City	14W
Anchorage	22W	Orlando	5W
Atlanta	4W	Oslo	2W
Bombay	1W	Paris	2W
Boston	16W	Rio De Janeiro	21W
Calgary	18W	San Francisco	15E
Chicago	3W	Seattle	19E
Denver	10W	Shanghai	5W
Jerusalem	3E	Toronto	11W
London	4W	Vancouver	20W
Little Rock	3E	Washington DC	10W
Livingston, MT	14E	Waterbury, CT	14W
Munich	1E		

5−3. コンパス機能の補正

1. リュウズを一段階（日付修正の位置）引き、上下いずれかのボタンを押すと、コンパス針が2回転します。
2. 時計を水平に台に置くか、もしくは水平に保持して下さい。
（注）時計のバンドが邪魔な場合は、時計本体と同等程度の円筒形の台もしくはコップなどを利用するか、時計本体表面に傷を付けないように注意しながら、裏返しに置いて下さい。
3. 水平に置いた時計を1回転に約15秒かけてゆっくり2回転させて下さい。
4. 再度、リュウズ上下位置にあるどちらかのボタンを押すと、コンパス針が11時から1時の間を1回動きます。
（注）偏角設定を行う場合は、この状態から継続して下さい。

5−4. 偏角設定

予め測定エリアの偏角を設定すると、コンパス針は自動的に補正され真北を指します。

現在地の偏角を西寄り5度とした場合：
1. 5−3. コンパス機能修正に続き実施して下さい。
2. 外周の回転ベゼルの北（V 字マークのついた部分）を12時の位置に置きます。
3. −30〜+30まで刻まれた偏角目盛を目安としながら、リュウズの上下にあるいずれかのボタンを繰り返し押し、W 方向5度の位置までコンパス針を動かします。
4. リュウズを押し込みます。
5. これで偏角が時計本体に認識され、針の指す方向がその現在地に対して常に真北となります。
（注）正確な方向を知るために、コンパスは実際に使用する場所で修正して下さい。
（注）偏角設定を行わない場合は、コンパス機能の修正を終了した時点でリュウズを押し込んで下さい。
（注）偏角が設定されていない場合は、現在地の偏角（例：W 方向5度）にあわせ回転ベゼルを回転させ、目盛を12時位置にすると、針の指した方向が真北になります。
（注）コンパスは地球の磁場（地磁気）の反応で作動します。時計を強力な磁力を発する機器等の附近に置くと、時計本体が磁気化し、正確な機能修正や測定が出来なくなりますので、次のような環境での機能修正や、ご使用はお避け下さい。
・大型の金属物（鉄橋、船舶、建築現場、自動車）の附近
・強力な電磁波を発生する電子機器（コンピューター、テレビ、オーディオ、電子レンジ及び大型モーターを使用した機器）の附近
・人体に装着する磁気健康器具の附近
・鋼鉄、軟鉄など鉄関連の多いエリア

5−5. コンパスの使用方法

コンパスは全ての修正が終了した状態では、赤い針先が12時位置を指しています。万一、それ以外を指している場合は、5−1. 「コンパスの針位置調整」を行って下さい。また、測定エリアが変わった場合には、5−3. 「コンパス機能の補正」を事前に必ず行って下さい。
（電池交換後も機能修正が必要となります。）

1. コンパス（時計本体）を水平に保持し、リュウズ上下のいずれかのボタンを押します。
2. 赤いコンパス針が動き北を指します。
3. 時計を水平にした状態で左右いずれかに回転して下さい。
4. コンパス針はその都度動いて常に北を指します。
（注）約20秒経過するとコンパス機能は自動的に終了しますが、ボタンを押すことで繰り返しその機能を作動させることができます。ただし、20秒以内に任意に測定を停止することは出来ません。

5−6. 標準的なコンパスの使用方法

A）自分の進んでいる方向を知るために。
1. 時計を水平に持ち、自分が進んでいる方向に文字盤12時位置を向けて下さい。
2. リュウズの上下いずれかのボタンを押すと、赤いコンパス針が動きます。
3. 外周の回転ベゼルを回し、コンパス針の位置にベゼルの北を示す位置（V字マークのついた部分）を合わせて下さい。
4. 12時の位置になったベゼル上の方位と角度を読むと進行方向が分かります。

B）自分がどの方向に進むかを確認するために。
（例：北東（NE）に行きたいが、どの方向が北東か分からない場合）
1. 予め進むべき方向が決まっているがその方向が分からない場合は、回転ベゼルの NE 部分を12時の位置まで回します。
2. 時計を水平に持った状態でリュウズの上下いずれかのボタンを押すと、赤いコンパス針が動きます。
3. 回転ベゼルの北位置とコンパス針が合うように時計を動かします。
4. 12時位置方向が北東になりますので、そちらに方角に進めば良いことになります。
（注）コンパス使用中は、インディグロ・ナイトライトのご使用は避けて下さい。
（注）回転ベゼル上のアルファベットの意味は次のとおりです。
N（North）☒　＝　北
NE（Northeast）☒ ＝　北東
E（East）☒　＝　東
SE（Southeast）☒ ＝　南東
S（South）☒　＝　南
SW（Southwest）☒＝　南西
W（West）☒　＝　西
N（Northwest）☒ ＝　北西

6. 防水性・耐水性

ケースもしくはウラブタに防水表示のあるモデルに限ります。
防水表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用下さい。
表示のないモデルは、非防水性です。

非防水性 汗などでもケース内に浸水しますので、取扱いには十分な注意が必要です。
30M・3気圧　→　日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。雨・手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性で
50M・5気圧　→　日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。水仕事に耐えうる程度の防水性です。
100M・10気圧　→　日常生活強化防水 水泳程度のご使用は可能です。
200M・20気圧　→　日常生活強化防水 水中でのご使用は可能です。但し、飽和潜水・空気潜水にはご使用出来ません。

7. 防水性・耐水性についてのご注意

・ケース内に浸水する恐れがありますので、水中ではリュウズ・プッシュボタンなどを作動しないで下さい。
・防水性は、永久的に継続する性能ではありません。外装部品やパッキン類が正常な状態でのみ維持されます。部品の劣化・老朽に伴って防水性も低下しますのでご注意下さい。
・時計に汚れなどが付着していると防水性の妨げとなりますので清潔にしてご使用下さい。
・水に関するスポーツなどでご使用の際、瞬間的に耐圧限界を超える衝撃が加わった場合には、浸水する可能性がありますので、ご注意下さい。
・防水性でも入浴中のご使用はお避け下さい。
・ダイバー向けの防水時計ではありませんので、ダイビングにはご使用にならないで下さい。
・性能を越えるご使用でのケース内浸水は、保証期間内に於いても有償対応となる場合がございますので、予めご了承下さい。

8. 電池寿命

使用電池　　：【リチュウム電池：CR2016】☒
電池寿命　　：【約5年間】☒
電池寿命の条件：【新しい電池を装着してから、インディグロ・ナイトライトを1日1回4秒間使用した場合を想定】
電池交換の目安：【時計精度に遅れが生じたり、インディグロ・ナイトライトが暗くなった場合】　☒
電池交換　　：【弊社に電池交換をご依頼下さい】☒

9. 電池についてのお願いとご注意

電池について
・時計をお買い求めいただいた際に組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。電池寿命に満たない場合もございますので、予めご了承下さい。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、液漏れなどによる故障の原因となりますので、お早めに交換をして下さい。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

警告
・破損の恐れがありますので、お客様ご自身で電池を時計から取り外さないで下さい。
・やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はお子様の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、身体に害を及ぼす可能性がありますので、直ちに医師にご相談下さい。

注意
・破損・発熱・発火などの恐れがありますので、電池を分解、ショート、加熱、火に入れるなどの危険行為をしないで下さい。
・ご使用の電池は充電式ではありません。液漏れや破損を生じる恐れがありますので、絶対に充電はしないで下さい。
・常温(5℃～35℃)からはずれた温度環境下に長時間放置すると、電池寿命が短くなったり、液漏れを生じることがあります。

10. 時計の精度

TIMEX社の規格では、クォーツウォッチは月差±15秒以内、メカニカルウォッチ(機械式)は日差±30秒で調整されています。ただし、ご使用の条件により変化することもありますので、予めご了承下さい。

11. ブレスレット／ストラップの調整

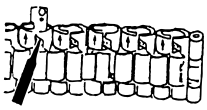
時計バンドがブレスレット(金属製)モデルに限ります。
モデルにより調整方法が異なりますので、該当する項目をご参照下さい。
該当以外のモデルや該当のモデルでも調整には工具や技術を必要としますので、作業が困難な場合は弊社宛に調整をご依頼下さいますようお願い致します。

スライド式留め金タイプ

スライド式留め金ブレスレット
ロックプレートを開けます。ブレスレットが目的の長さになるよう留め金を動かします。ロックプレートに圧力をかけて押さえながら留め金を前後にずらし、ブレスレットの裏側の溝に収まるようにします。ロックプレートをパチッと音がするまで押して閉じます。留め金に力をかけすぎると傷むことがありますので注意して下さい。

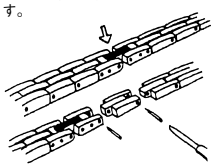
折り重ね式留め金タイプ

折り重ね式留め金ブレスレット
ブレスレットと留め金をつないでいるスプリング棒を見つけ出します。先の尖った道具を使って、スプリング棒を押し込み、ブレスレットをそっとねじって外します。手首に合わせて長さを決めたら、目的位置の下穴にスプリング棒を入れます。スプリング棒を押し下げて上穴に当ててから離し、定位置にロックします。



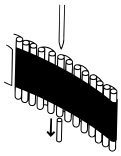
ソリッドリンク式タイプ

ソリッドリンク式ブレスレット
リンク取り外し：ごく細いドライバーを使い、ネジを左回りに回して外します。繰り返して、必要な数だけリンクを取り外します。留め金の近くのリンクは外さないで下さい。
接続：継ぎ直す端を組み合わせ、ネジを取り外した側からネジを入れて戻します。側面が平らになるまで、ネジを右回りに回してしっかり締めます。

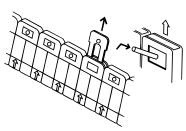


ステンレスとウレタンのジョイントタイプ

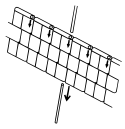
金属部分のパイプ内のピンを叩いて取り外す駒数のみピンを抜いて、つなぎます。



その他のタイプ

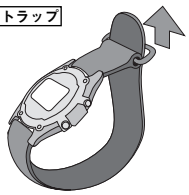


丸凹み部分を押しながら上方に抜く

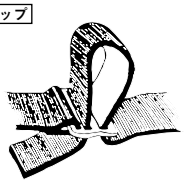


矢印の方向にピンを叩いて抜く

ベルクロ ストラップ



伸縮 ストラップ



12. ご使用上の注意とお手入れ方法

日常のお手入れ
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
・時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・パッキンの寿命が違います。
・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
・革バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
・金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみを水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。
・ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗浄して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。通常のご使用でも素材の性質上、硬化・変色する場合があります。
・非防水時計は、湿度のあるところや汗などにご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
・日常生活強化防水時計(10気圧・20気圧)を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、水を使用して水分や汚れを拭き取って下さい。
・回転式ベゼル・リュウズ・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
・時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合もありますので、絶対に付着させないで下さい。

かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常を生じた場合は、直ちにご使用を中止して医師にご相談下さい。

保管について
・「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
・極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
・強い振動のあるところに放置しないで下さい。
・薬品にふれるところに放置しないで下さい。
・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

13. 時計外装部品の損傷・破損について

・時計外装部品の損傷・破損は、保証期間内に於いても特別な場合を除き有償修理対応となります。又、損傷・破損が原因であっても、紛失された場合は保証の範囲ではありません。
・回転ベゼルリング・リュウズ・ボタン・ハンドバックル等の可動部分の損傷・破損は保証の範囲ではありません。
・ご購入頂いてから間もない商品以外の時計のナイロンバンド・皮バンドの裁縫のほつれは、特別な場合を除き有償修理応対となります。

14. アフターサービス

修理を依頼される場合

時計の不具合及び修理は、不具合箇所を明記していただき下記宛にご郵送下さい。
弊社発行の保証書を必ずご同封下さい。添付のない場合は、保証期間内に於いても有償対応となりますので予めご了承下さい。

予めご了承いただきたいこと

消耗部品は経時変化しますので、必要に応じて点検及び部品交換をお申し付け下さい。
修理の際、「代替部品」を使用させていただく場合や、修理が困難な場合は「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。
特別注文された製品の修理では、純正部品での対応となる場合があります。
日本国内未入荷モデルは、修理対応が「不可能」な場合や「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。

日本総代理店
DKSHジャパン株式会社　カジュアル・ライフスタイル
〒108−8360　東京都港区三田3丁目4番19　DKSH三田ビルディング
TEL:03(5441)4515　FAX:03(5441)4522
URL：http://www.timexwatch.jp